

新型コロナウイルスワクチンについての説明

新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルスによる感染症が発症すると、熱や咳など風邪によく似た症状がみられます。軽症のまま治癒する人も多い一方、重症化すると、呼吸困難などの肺炎の症状が悪化し、死に至る場合もあります。

ワクチンの効果と投与方法

今回接種するワクチンはファイザー社製のワクチンです。新型コロナウイルス感染症の発症を予防します。

ワクチンを受けた人が受けていない人よりも、新型コロナウイルス感染症を発症した人が少ないということが分かっています。(発症予防効果は約95%と報告されています。)

接種量: 1回0.3 mLを合計2回

接種回数・間隔: 2回(通常、3週間の間隔) ※筋肉内に接種

予防接種を受けることができない人

下記にあてはまる方は本ワクチンを接種できません。該当すると思われる場合、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- ・ 明らかに発熱している人(※1)
- ・ 重い急性疾患にかかっている人
- ・ 本ワクチンの成分に対し重度の過敏症(※2)の既往歴のある人
- ・ 上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある人



(※1) 明らかな発熱とは通常37.5℃以上を指します。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温を鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。

(※2) アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。

予防接種を受けるに当たり注意が必要な人

下記にあてはまる方は本ワクチンの接種について、注意が必要です。該当すると思われる場合は、主治医にご相談されることをお勧めします。また、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- ・ 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人
- ・ 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- ・ 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
- ・ 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた人
- ・ 過去にけいれんを起こしたことがある人
- ・ 本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人

(裏へ続く)

本剤には、これまでのワクチンでは使用されたことのない添加剤が含まれています。過去に、薬剤で過敏症やアレルギーを起こしたことがある人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

接種を受けた後の注意点

- ・本ワクチンの接種を受けた後、15分以上（過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、気分が悪くなったり、失神等を起こしたりしたことがある方は30分以上）、接種を受けた施設でお待ちいただき、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。（急に起こる副反応に対応できます。）
- ・注射した部分は清潔に保つようにし、接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。
- ・当日の激しい運動は控えてください。

副反応について

主な副反応は、注射した部分の痛み、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱等があります。また、まれに起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。なお、本ワクチンは、新しい種類のワクチンのため、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談しましょう。

予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことができないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）が受けられます。申請に必要な手続きなどについては、町にご相談ください。

◆新型コロナウイルスワクチンについてのご相談はこちらへ

岐阜県 新型コロナウイルスワクチン接種相談窓口

受付時間 9:00～21:00(土・日・祝も対応します)

電話番号 058-272-8222

相談受付の内容: ワクチン接種に関する質問や相談(接種後の副反応への対応方法など)

お問い合わせ先

七宗町 生きがい健康センター

電話 48-2046